

クラウド上の計算リソースや便利なサービスを使いたいが、データは移動したくない



課題・悩み

- クラウドのストレージ費用が高く、かつデータの移動には時間がかかるため、大容量のデータはクラウド上に置きたくない
- データをクラウドの外に置いて、複数のクラウドやオンプレミスから単一のデータを利用したい。
- データは集約するが、計算リソースは必要に応じて複数のクラウドを使い分けたい。

 **解決策**：データセンターにNetApp Private Storageを設置し、高速な回線でクラウドとつなぐ。

- ストレージ（顧客所有資産）
 - a. NetApp FAS/AFFシリーズ
- 回線とハウジングラック利用契約（データセンター事業者のサービス）
 - a. Equinix Cloud Exchange
 - b. AtTokyo Business Exchange (ATBeX)/ クラウド接続サービス
 - データセンター事業者が提供するマルチクラウドに接続できる回線サービスを利用し、顧客が所有するストレージをデータセンターにハウジングし、複数のクラウドやオンプレミスと接続する組み合わせソリューション。

キーワード

- NetApp Private Storage (NPS)
(ハードウェア+回線の組み合わせソリューション)

関連動画・資料

- [クラウド向けNetApp Private Storage](#)
- [NetApp Private Storage \(NPS\) for Cloud](#) (英語)
- [How NetApp IT uses NPS in its Data Fabric](#) (NetApp社内事例 - 50分)
Using NetApp Private Storage in a Hybrid Cloud | NetApp on NetApp INFORM Webinar